



「お祭りマンボ」を楽しく 歌います！

10周年まで あと 290日（練習回数は、あと 39回）

「お祭りマンボ」が歌われていた時代は、敗戦から7年、朝鮮戦争も休戦になり、朝鮮特需で日本経済も沸き立ち、復興が、はっきりした時代だったとか。祭りも毎年来る、悲しく辛いこともいつか終わる。（家を焼かれ、家財を失っても）と、歌詞には辛い現実が書いてありますが、祭りはお祭りとして、その時その日で、辛さを吹き飛ばして「楽しくやろうよ」というようなベースの気風があったようです。私たちもそのベースの気風に乗って歌いたいと思います。

5月24日の練習から



お祭りマンボ：*（曲の進み方に注意。）

- ・ p21、1番は、女性。p23の47小節からは、男女交互、又は混声で、1番の歌詞でp25の68小節まで続く。
- ・ p25、4小節の（繰り返し記号）でp20の5小節の前奏に戻る。
- ・ p21、2番は男性。p23の47小節からは2番の歌詞でp25の68小節まで歌う。
- ・ p22の35小節の（けいーき）は「けえーき」と歌う。
- ・ p25、75小節から、Bluesへ。
- ・ p86、96小節は押し切り。

落葉松：

- ・ ショートカットしないで、ノーカットで歌う。
- ・ 息を少しずつ、ゆっくり出すこと。
- ・ 8分音符と3連符を正確に区別すること。
- ・ p42の最後の部分はかなりゆっくりになるので、指揮をよく見ること。

瑠璃色の地球：

- ・ 後半の部分を1回通して練習。

★詩

いっしょうけんめい

こうさぎこうへい

のはらの まんなかで みみをすますと

きこえる きこえる

ちょうちよが はなの みつをすう おと

ありんこが クローバーに かけのぼる おと

ああ みんな いっしょうけんめいだ

なんだか うれしくて きみに あいたくて

ぼくは かけだした いっしょうけんめい（「のはらうた」より、くどうなおこ作）

